



環境・社会・ガバナンス（ESG）方針

2020年7月改定

方針制定の経緯

ティー・ロウ・プライスでは、ファンダメンタル分析を投資判断の基礎に置き、ボトムアップ型アプローチを介して企業のビジネスモデルの長期サステナビリティとそのビジネスモデルを変化させる要因を理解するよう努めています。当社では、環境・社会・ガバナンス（ESG）ファクターは投資のリスクとリターンに影響すると考えており、投資のファンダメンタル分析においてはESGリスクを考慮に入れています。

こういった考え方の下、当社は責任投資原則（PRI）¹に署名しています。責任投資原則（PRI）のフレームワークは投資家同士の前向きな対話を促し、グローバルに各国企業の情報開示を改善する有効な手段であると考え、賛同しています。ティー・ロウ・プライスのミッションはお客様に優れた長期的投資リターンを提供することであり、ESG分析はその達成を補完しています。

指針

ESGファクターを投資判断に組み入れる責任はアナリストとポートフォリオ・マネジャーにあり、社内のESGスペシャリストである「責任投資チーム」と「コーポレートガバナンス・チーム」は専門的知識をもってそれを支援します。以下はその基本理念です。

- 1. インテグレーション：**ティー・ロウ・プライスでは環境・社会・ガバナンス分析を運用プロセスに内包。投資判断にESGファクターを統合する責任はアナリストとポートフォリオ・マネジャーにあります。
- 2. 協働：**運用プロフェッショナルの投資判断にESG要因を組み込むサポートとして、ESGおよび規制リサーチの専門家を運用リサーチ部門に配置。アナリストやポートフォリオ・マネジャーと協働し、特に重要な事項については徹底的な調査を通じて投資判断を支援します。
- 3. 重要性：**運用パフォーマンスに大きな影響を及ぼす可能性が最も高いESG要因に重点を置きます。

¹2006年発足。責任投資原則（PRI）は、賛同を表明したアセットオーナーと機関投資家が、環境・社会・ガバナンス（ESG）課題を投資ポートフォリオに取り込むための枠組みを示した投資原則。

ESGの論点をいかに組み込むか

ポートフォリオで投資する企業の持続性を評価するに当たっては様々な要因を考慮しています。投資先企業のキャピタルスチュワードシップ、アカウントビリティ、透明性、経営陣の質、戦略・執行力、業界内における競争力、人的資本の管理、リソースの有効活用等多くが含まれています。

ESGファクターの評価は、分析対象となる国、業界、企業そして経営陣に大きく左右されるため、どの点を考慮すべきかは投資対象によって異なります。ESGには多くの課題がありますが、投資リサーチの過程において考慮する点は以下が例として挙げられます。

- 規制、原材料の調達とコスト、水、エネルギー、その他の重要な要因を含む長期的な環境にかかる課題
- 企業の報酬制度と掲げている経営戦略との整合性
- サプライチェーンのリスク、ストライキ、労使紛争等
- 取締役会の質と多様性
- 現在および今後変化する可能性のある規制環境。世界経済や業界が変化していく中、規制が厳しい業界や議論の的になっている点については特に注視。
- 企業による情報開示の相対的なクオリティ、投資家の利益に対する関心度、ステークホルダーとの対話やエンゲージメントに対する考え方

ESGリスクを投資判断に組み込む責任は、リサーチ部門に属する全てのアナリストが負っています。ティール・ロウ・プライスでは、アナリストはそれぞれが各分野でのエキスパートであり、特定の地域/セクターを担当しています。10年以上同じ企業を担当しているアナリストも存在します。アナリストは、企業の経営陣と面談し、現地訪問を行い、その企業および業界の詳細な調査分析を担当します。

責任投資やコーポレート・ガバナンスの課題または議決権の分析を専門に行うスペシャリスト・チームが、リサーチ・アナリストがESGファクターを投資判断に組み込むための支援を行っています。ESGスペシャリストはリサーチ部門に所属しており、専門的知識をもってリサーチ・アナリストやポートフォリオ・マネジャーが投資対象に取って重要な環境・社会・ガバナンス課題を把握できるようサポートし、またその点について発行体企業に関与できるよう後押ししています。

ティール・ロウ・プライスの最終的なゴール：顧客のための優れた長期投資

ポートフォリオはいずれも許容可能なリスクに見合った長期リターンを提供することを目標としています。様々なESGリスクとその他の投資基準を合わせて評価し、理解することにより、顧客のために安定的に卓越した長期投資リターンを達成できる可能性が高まると考えています。

詳細情報

スチュワードシップと責任投資に関するティール・ロウ・プライスの取組みにかかる追加情報は、[当社サイト](#)をご参照ください。

当社の責任投資ガイドライン、エンゲージメント方針、議決権行使ガイドライン、議決権代理行使の記録およびその他のリサーチ資料や情報開示が掲載されています。